

# 顕微赤外分光光度計 ワークショップのご案内

日時 | 令和5年10月23日~24日

会場 | 福井大学 文京キャンパス

入場 | **無料** (定員になり次第、締め切らせていただきます)

実演 | **お客様の実試料**でお試しいただけます。

参加申込書に必要事項をご記入の上、メールでお申込み下さい。  
また当日試料をご持参される場合は事前にサンプルの内容をお知らせください。

## フーリエ変換赤外分光光度計:IRTracer-100

高感度・高分解能・高速測定を実現!

S/N 60000:1の高感度測定

スペクトル分解能 $0.25\text{cm}^{-1}$ の高分解能測定

最速20回/秒での測定が可能

## 赤外顕微鏡:AIMsight

自動解析システムによるサポートでスムーズな分析が可能  
直径 $10\mu\text{m}$ のポリスチレンビーズの分析が可能

サンプルサイズ

大きさ:最大 $230\text{mm}\times 210\text{mm}$  (可動域: $70\text{mm}\times 30\text{mm}$ )

最大厚み: $40\text{mm}$  (反射)/ $10\text{mm}$  (透過)

## アプリケーション例

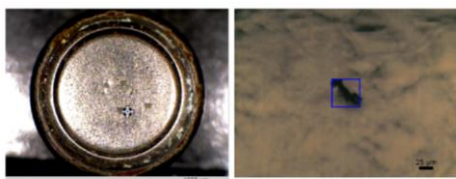
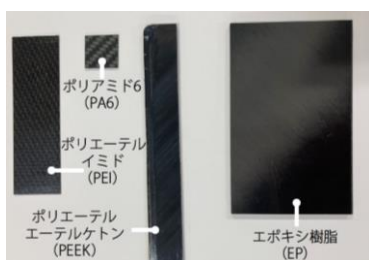


図2 ボタン電池表面異物の外観  
左:広視野カメラによるボタン電池全体の観察画像  
右:顕微カメラによるボタン電池表面異物の観察画像



ポリアミド6 (PA6)  
ポリアーテルイミド (PEI)  
ポリアーテルエーテルケトン (PEEK)  
エポキシ樹脂 (EP)

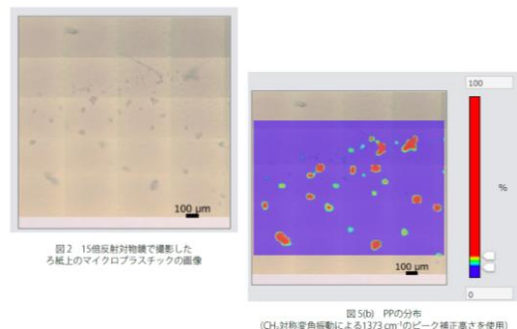


図2 15倍反射対物鏡で撮影した  
ろ紙上のマイクロプラスチックの画像

図5(b) PFD分布  
( $\text{CH}_2$ 対称角偏光による $1373\text{cm}^{-1}$ のピーク補正高さを使用)

ボタン電池上の異物分析

CFRPの樹脂判別

濾紙に残ったマイクロプラスチックの分析